

# お店での食べ残しの課題に取り組む 持ち帰り自己責任welcome!

(ドギーバッグ普及委員会ボランティア 湘南女子高生ユニット「PlantPitty」)

湘南女子高生ユニット「PlantPitty」が、ドギーバッグ普及委員会に協力を申出して、同委員会の持ち帰り自己責任ステッカー100枚を、地元湘南の飲食店に貼ってもらうプロジェクトを展開。

- 地球上で起きているが、知られていない数々の問題を一人でも多くの人に知らせたい、現状を変えたいと考え、音楽&ボランティアユニット「PlantPitty」を結成。



「何らかの理由で食べ残してしまったとき、当たり前のように残して帰るのではなく、「後で食べよ〜と!」とお持ち帰りする人が増えてほしいなと思っている。きっと店の人も食べ残しを捨てる時、心が痛いのではないのでしょうか。」と訴える。

- ドギーバッグ普及委員会の考えに賛同し、協力を申出し、同委員会の持ち帰り自己責任ステッカーを100枚入手。

## 【ドギーバッグ普及委員会の考え】

同委員会では、持ち帰り専用の何回も使える容器(ドギーバッグ)を提供しているが、是非自宅にあるタッパーや弁当箱などをお客様に持参していただきたい。しかし、料理を残すことを前提で飲食店に行かれる人はいないと思うので、有料でも無料でも、お店の方にドギーバッグ用意の協力をお願いしたい。

〈ドギーバッグ普及委員会の持ち帰り自己責任ステッカー〉



- SDGs目標12「つくる責任、使う責任」をベースに、関連する目標と併せて活動。

## PlantPittyの活動目標

- ・食料の不平等をなくし公正と平和を築きたい。
- ・食品ロスを減らすことはゴミの削減にもつながる。



- 地元湘南の飲食店に飛び込みで、ステッカーを貼らせてもらえるよう交渉。

飛び込みと紹介により貼ってもらう確率は70%!  
令和元年12月から開始し、コロナ禍も地道に店舗と交渉し、100枚(100店舗分)を貼ってもらう目標を、令和2年10月に達成。

〈ドギーバッグ普及委員会の緑の繰り返し使える容器(ドギーバッグ)〉

